

2025年度

# かほく「108」ファンド 助成金申請受付開始

かほく「108」クラブは、社会貢献活動の推進を目的として河北新報グループ12社と、そこに働く従業員で構成し、寄付を出し合って運営している任意団体です。

**応募締切** 2025年3月31日(月) 必着

**対象団体** 宮城県内で活動し、1年以上活動実績があり、活動は非営利・公益的なものであること(法人格の有無を問いません)

**助成対象** 子どもと共に、地域での成長を目指す活動(健全育成、子育て支援など)  
※通算3回を限度とします

**助成金額** 1件20万円(上限)

**申請書類ダウンロード** <https://www.kahoku.co.jp/csr/>

かほく「108」クラブ事務局

〒980-8660 仙台市青葉区五橋1-2-28 河北新報社総務部内  
●TEL: 022-211-1400 ●FAX: 022-211-1448  
●E-mail: k108@po.kahoku.co.jp

ひとひととを  
むすぶ情報紙

みやぎNPOプラザ情報

2025.3 vol.144

# One to One

みやぎNPO フォーラム  
NPOの世代交代と事業継承を考える Part 2

## 三代目に聞く！NPOの世代交代 ～事業の継承と変革に向けて～

NPO 法施行から 25 年。多くの NPO が世代交代や事業継承の悩みに直面しています。どの団体もいずれ直面する課題に向き合うため、昨年のフォーラムでは世代交代を成功させた NPO フェージョン長池(東京都) 創業者の富永一夫さんを迎え、後継者の見つけ方を参加者と共に考えました。今年度は、富永さんから事業を継承した田所喬さんとともに、世代交代と事業継承の多様な可能性を探りました。

同期の 20 代の職員が副理事長になり、新理事長が運営しやすい環境の元で引き継がれたからです。さらに月 1 回、スタッフ全員が出席する引き継ぎ会議があり「全員で引き継いでいく」という意識が生まれました。実務の引き継ぎでは、一方的に教えられるのではなく、1 日の活動を振り返り富永さんからアドバイスを受けるという方法で3カ月間つきっきりでなされました。そうして引き継いで以降、前代表は一切口出しをせず、全て任せられています。「あり方は引き継ぐが、やり方は引き継がない」のがコツとの事です。



◀二年目で代表となった田所さん

### 円満でなくとも円滑な引き継ぎを

田所さんは英語教室を退職してすぐ参加した地域のイベントで富永さんと出会い、長池でのボランティア参加がきっかけで職員になりました。富永さんの「地域にスーパーマンはいらない、一人ひとりが主役になるのが大事」との話に共感したそうです。入社して2年後、理事長に就任しました。それまで長池の事業は公園管理が主でしたが、田所さんが代表に就任後、八王子市の2施設も管理するなど、規模を拡大させています。

### 引き継ぎの目的を確認しよう

後継者探しに悩む団体には、他団体と協働でイベントを開催したり、地域のイベントに出店するなど積極的に外に出て活動を知らせるようにサポートしています。そこで活動に興味を持つ人と出会い、若い世代の参画につながった例もあります。また、代表を交代し組織を継続させることだけが引き継ぎではない、とも伝えます。活動の目的を達成する意識で他団体と協働し、その団体に活動をゆるやかに引き継ぐなど方法は多様です。創業者は理念や想いが強い分、自分と同じように動く人(自分の分身)を探しがちですが、関わる人や団体それぞれの想いや目的を大事にしながら協力し合うことで、活動の目的を継承する後継者が生まれてくる、と話しました。

参画してわずか2年の人に引き継がれたのは「前代表が後継者の理想像を常に持ち、団体内部だけでなく外にも目を向けて探していたところ、偶然田所さんと出会った」「団体には田所さんよりも長く勤め専門知識のある職員や理事もいたが、利用者の苦情対応も苦にせずでき、多様な人とのつなぎ役が得意な田所さんが「適材適所」で選ばれた」からと田所さんは話します。世代交代は決してすべてが円満ではありませんでしたが「前代表の富永さん自身が円満でなくてもいい、と覚悟を決めて引き継ぎを進めていた」と振り返ります。引き継ぎ後の団体運営は「楽だった」と田所さん。

令和7年度 みやぎNPOプラザ

## ロッカー&レターケース 使用団体募集

活動を円滑に進めるために…メンバーとの情報共有に…ロッカーやレターケースを活用しませんか？

**ロッカー** 締切：3月9日(日)  
使用料：大 500円/月  
小 200円/月

**レターケース** 締切：3月23日(日)  
使用料：無料

## みやぎNPO情報ネット

### 4月からリニューアル!

詳細については、みやぎNPO情報ネットにてみなさんにお知らせします。

これからもたくさん情報発信するワン

NPO法人に認証された団体		仙台市所轄分 11月1日～1月31日	
団体名	所在地	活動内容	認証日
口腔外科臨床研究会	青葉区	講演会の開催等による口腔外科医療に関する研究発表等事業 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業	12/9
WTFC せんだい	若林区	居場所づくり事業 地域の人たちとの交流事業 体験機会の提供事業 相談支援事業	12/10

NPO法人に認証された団体		仙台市所轄分 11月1日～1月31日	
団体名	所在地	活動内容	認証日
里山保全会	泉区	環境保全に関する情報発信事業(会報誌やWebサイト掲載による情報発信) 環境保全に関するDX導入支援事業(webカメラや保全地域環境調査) 里山保全管理に関する相談事業(山林や田畑等の相談)	1/8
音楽のチカラ	青葉区	各種演奏会・文化芸術イベント等の企画及び開催に関する事業 音楽活動、音楽教育の推進及び支援に関する事業 文化芸術の振興、音楽活動などに携わる個人、団体等への協力、交流、連携及び支援に関する事業	1/9

**宮城県のNPO法人数 779団体** (2025年1月31日現在)  
宮城県等所轄:398団体 仙台市所轄:381団体  
※解散、所轄庁変更、認証取消、認証撤回した団体を除く

発行日 2025年3月1日

発行 宮城県民間非営利活動プラザ(みやぎNPOプラザ)

発行部数 5,000部

編集 認定特定非営利活動法人杜の伝言板ゆるる

編集スタッフ 堀川晴代 小野寺真美 丹野伶菜

【お問い合わせ】  
〒983-0851 宮城県仙台市宮城野区榎ヶ岡5  
TEL:022-256-0505 FAX:022-256-0533  
E-mail:npo@miyagi-npo.gr.jp  
URL:https://www.miyagi-npo.gr.jp

「One to One」は、県内各地でのさまざまなNPO活動により、ひとひととが信頼でつながって、よりよい市民社会が形成されるようお願いを込めたニュースレターです。

2025.3 vol.144



# 対談

講演のあと、田所さんと認定 NPO 法人杜の伝言板ゆるる代表理事の石田祐さんによる対談を行いました。ここでは、参加者の関心が高かった2つのテーマを紹介します。

## 代表者となる人がいない…悩みについて

石田：代表者となる人がいないと悩んでいる団体が多いようですが、たまたま見つかったのかもかもしれませんし、前代表者が前から探していたのかもかもしれませんね。諦めていたところ、ポツといい人と出会えたのかもかもしれません。僕の場合は、他県から宮城県にくるのを前代表にキャッチされていて、プレッシャーもですが、温かいオファーを受けて、赴任する前からこの団体で自分が果たすべき役割について考えていました。

田所：本当に手手が欲しいということであれば、徹底的に探さなきゃいけないですかね。例えば今日会場でお会いしてる中で、他の団体で働いてたとしても、その人が自分と働いて、あーこの人が代表者だったらいいな、みたいな。また、代表者は1人というルールはないので、共同代表という形で代表者の権限や役割を分



▲石田さん  
◀田所さん

担するという考え方も僕の中にはあります。ただ、一緒に活動している人にとっては、どっちに聞けばいいのかとか、2人の考え方が違ったらどうするのかという話もあるので、難しい部分もあると思います。PTAの話ですが、会長を3人にしたところがあるんですね。そういうやり方もあるかもしれません。

石田：1人では大変だということですよ。

田所：そうだと思います。

石田：代表者を複数にするか、また、代表者をサポートする人がいるかどうかということも重要です。

## 2年目で代表者に。大変ではなかった？

田所：これ、自分はすごく恵まれていたなと思うんですよ。結構理事やスタッフが入れ替わったので。僕が周囲にお願いしますって言ってまわったわけではなくて、前理事長が1人ひとりに世代交代をすることを話してくれたんです。反発されたとかどう乗り越えたのかっていうエピソードがここで生まれるたよかったですけど。ゆるるは、引継ぎ時の地域との関係性はいかがだったんですか？

石田：地域の方に聞いてみないとわからないんですが、それまでは地域にどんどん出ていっているいろいろなサポートをしていたので、様々議論することはあっても関係性は良好だったと思います。

田所：なるほど。僕が引き継いだ時に1番大変だったのはそこですね。目立つと叩きたくなる方っているんですよ。そういった方との関係性を作るというのが、最初の仕事だったように思います。

石田：マイナスからゼロに持っていったり、プラスに持っていったりということですね。反対にプラスにあったものがどんどん下がっていかないように維持しないといけないこともありますよ。

田所：それでも、前代表者から、考え方と

かは引き継いで欲しいけど、それ以外は自由にやっていいよ、と言われたので、すごくやりやすかったです。

石田：周りからこれを期待してるよ、ということはあったんですか。

田所：そんなに期待されてはなかったような気がします。創業者はパワフルで積極的にけん引していくタイプが多いですが、2代目は、ほわっとしているというか大丈夫かな、というところがあつたりするので、そういう人を選ぶと周りが支えてくれて、いい雰囲気になっていくのかなって。自分自分で言うのもなんですけど。



◀参加者の質問に答えながら対談する二人

## 宮城県民会館・みやぎNPOプラザ複合施設シンポジウム みんなでつくる文化と共生のカタチ

現在、宮城県はみやぎNPOプラザと宮城県民会館の複合施設の整備を進めています。新しい施設は仙台市宮城野区宮城野の仙台医療センターの跡地に建設され、令和10年度中の開館が予定されています。

県民にこの新しい施設を周知し、利活用の具体的なイメージを持ってもらうキックオフイベントとして、2月1日(土)に「宮城県民会館・みやぎNPOプラザ複合施設シンポジウム みんなでつくる文化と共生のカタチ」が開催されました。

基調講演には2名のゲストが登壇。NPO法人スローレーベル芸術監督の栗栖良依さんからは、「文化芸術と共生社会」をテーマに、異文化の人やコミュニティをつなげ、対話や協働のプロセスで社会変革を試みる市民参加型のアートプロジェクトについての取組みが紹介されました。

長崎市トセピアホール館長の出口亮太さんからは、公民館や市民活動支援施設の管理運営の経験を通して、文化芸術・生涯学習・市民活動分野を横断した事業展開により相乗効果が得られているとの話を伺いました。

大河原町のえずこホールの玉淵博之館長、宮城県民会館の阿部正直館長、みやぎNPOプラザの堀川晴代館長を交えたパネルディスカッションでは、多様な人々が交流し、活気あふれる社会につながる施設とするために、今からできることなどを語り合いました。

会場には約80名が参加。新施設に想いを馳せるシンポジウムとなりました。これを契機に、みやぎNPOプラザも利用者にとって使いやすく、多くの人々がNPOをより身近に感じられる施設となるよう、さらに準備を進めていきます。

## みやぎNPOプラザ

## 講座開催情報

### NPO 法人の事務力向上講座 ～年間スケジュールとやるべき仕事を理解する～

日時：3月7日(金)14:00～16:00	内容：・NPO法人の法人運営業務の全体像
開催方法：Zoom	・NPO法人の年間運営スケジュールと実務 (仕事月が決算月によって変わる仕事、 仕事月が固定している仕事など)
講師：関口宏聡さん(NPO法人セイエン代表理事)	・理事会と総会の関係と運営・役員(理事、監事)の再任、 変更手続
対象：NPO法人の理事、法人運営を担当する事務局スタッフ、 関心のある方など	・法人運営の失敗事例、成功事例
定員：30名(先着順)	・NPO法人ウェブ報告システムも紹介!
参加費：800円	※本講座では、会計や労務の実務詳細は取り上げません。

お申し込みはみやぎNPOプラザへ



# information

2月15日までにみやぎNPOプラザ及び、みやぎNPO情報ネットに届いた情報です。詳細は各情報の連絡先にお問合せ下さい。より詳しい情報は右側のQRコードからご覧いただけます。



## ボランティア情報



## 有給スタッフ



### 心に寄り添うボランティアを募集しています 気持ちを受けとる勉強会

「死にたいほど苦しい気持ちを抱える方に寄りそう方法」などを学ぶ勉強会です。勉強会に参加した方が支援活動を行うことができます。

- 日時：3月15日(土) 10:00～17:00(受付9:30)
- 場所：浄土真宗本願寺派 仙台別院教化センター (仙台市青葉区支倉町1-26)
- 対象：20歳以上で活動に興味のある方
- 定員：10名
- 参加費：1,000円(当日会場で受付致します)
- 持ち物：お昼は各自ご準備ください。
- 申込方法：下記の連絡先にお申し込み。
- 申込締切：3月14日(金)
- 主催：とほく Sotto 東北自死・自殺相談センター
- 連絡先：TEL：070-1355-3204(9:00～17:00)  
事務局電話での電話相談は行ってません。  
E-mail：tohoku.sotto@gmail.com

### フリースクールでの子どもたちのサポート ボランティアさん募集!

大崎市岩出山で運営しているフリースクールで、不登校の子どもたちの居場所支援のボランティアさんを募集しています。

- 活動日時：月～金曜日 10:00～16:00(ご都合に合わせて)
- 活動場所：フリースペース道 (大崎市岩出山上野目字下辻堂58-2)
- 活動内容：子どもたちの見守り、一緒におしゃべり、交流
- 対象：高校生以上で、不登校に理解のある方
- 持ち物・服装：飲み物・動きやすい服装
- 申込方法：下記連絡先にお申込みください。
- 募集主体：一般社団法人フリースペース道
- 連絡先：担当：高橋  
TEL：090-8561-4267  
E-mail：osakiforchildren@gmail.com

### わたしたちと一緒に女性や子どもを応援する 活動をしませんか?

宮城を中心に、生きづらさを抱える女性や子どもを応援しているNPO法人 mia forza です。

- ①女性応援事業運営スタッフ(女子の居場所、シングルマザーやDV・性暴力等の被害者の方向けの語り合いの場の運営、食糧・生活用品の提供等)
- ②10-20代女子の居場所「mia room」運営スタッフを募集しています。

- 勤務日時：①平日3～4日。月・火・水・金曜日のうち3～4日の出勤が基本ですが、月1～2回土曜日出勤の可能性があります。  
②月1～3回 16:30-19:30
- 時給：①1,100円以上 ②1,000円以上
- 交通費：①月上限15,000円 ②月上限5,000円
- 勤務地：仙台市青葉区一番町
- 経歴等：業務でワード・エクセル・パワーポイント・OneDrive・Slack・Google Drive・各種SNS等を使用します。  
パソコン使用に抵抗のない方を希望します。  
ソーシャルセクターに関わらず、相談対応・企画の経験のある方や困難に直面している方たちへの寄り添いや応援を通して、社会課題の解決を目指したい方も歓迎します。
- 申込方法：メールにて、履歴書・職務経歴書をお送りください。自己PR書をつけていただいても構いません。お送りいただきましたら、1週間から10日程度でお返事を申し上げます。
- 締切：3月15日(土)
- 募集主体：NPO法人 mia forza
- 連絡先：採用担当  
E-mail：miaforza.sendai@gmail.com  
URL：https://miaforza.jp  
対応可能な日時：平日 10:00-16:00

## みやぎNPOプラザパートタイム職員募集

認定NPO法人杜の伝言板ゆるるは、宮城県内のNPOが継続して活動できる環境をつくるため、情報紙やWebサイトでの情報発信を支援するほか、活動に必要なスキル習得のための講座や相談会などの事業を実施している、NPO支援組織です。私たちと一緒に、社会貢献に取り組むNPO・市民活動をサポートしませんか?

- 職務内容：宮城県のNPO支援施設「みやぎNPOプラザ」の施設設備貸出等の窓口対応、NPO情報の整理等
- 募集人数：1名
- 勤務地：みやぎNPOプラザ (仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地)
- 勤務日間：週4～5日程度 9:00～13:00(4時間) ※シフト制
- 休日：日・月曜日の休日が基本 ※月初めの月曜日は勤務 ※12/29～1/3年末年始、6か月後、有給休暇あり
- 給与・待遇：・時給：990円 (試用期間3ヶ月 ※賃金相違なし)  
・通勤手当：上限15,000円  
・雇用期間：令和7年4月1日～令和8年3月31日 (雇用環境が整えば更新あり)
- 応募資格：・市民活動・NPOに関心があり、自主的・主体的に学び、労働意欲のある方  
・パソコンの基本操作(Word、Excel、インターネットやメール)ができる方  
・社会常識と接客対応力・コミュニケーション能力があり、心身共に健康な方  
・土曜日の勤務が可能な方
- 応募方法：履歴書(自筆・写真必要)を郵送又は電話連絡の上、持参
- 選考方法：一次審査(書類選考)合格者のみ二次試験(PC操作・面接)実施 ※二次審査試験日は一次審査合格者にのみ連絡
- 募集主体：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる
- 連絡先：みやぎNPOプラザ(担当：堀川)  
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地  
TEL：022-256-0505  
FAX：022-256-0533  
E-mail：npo@miyagi-npo.gr.jp



## イベント



### 3/15 語り合いの会・無料塾

何らかの理由で学校に行くことができない子どもをもつ保護者を対象に「語り合いの会」を月に一度行っています。(お子さんも同伴可能)  
また、希望するお子さんには学習支援「無料塾」を行っています。

- 日時：3月15日(土)  
午前の部 10:00～12:00  
午後の部 13:00～15:00
- 場所：登米市自立相談支援センター そ・えーる登米2階研修室 (登米市迫町佐沼字中江4-15-3)
- 対象：何らかの理由で学校に行くことができない子どもをもつ保護者
- 定員：午前・午後各回5名
- 参加費：無料
- 申込方法：下記連絡先へ申込み
- 主催：NPO法人スマイルむさし
- 連絡先：語り合い・無料塾  
TEL：090-2880-0634(平日9:00～17:00)

### 3/15 ノルディックフィットネスフォーラム 2025 in 仙台

ノルディックウォーキングで健康的な生活と明るい未来を手に入れよう。

- 日時場所：3月15日(土)  
東北福祉大学仙台駅東口キャンパス  
講演会 14:00～17:00  
交流会 17:30～19:30  
3月16日(日) 仙台市青葉山公園  
ノルディックウォーキング 10:00～12:00
- 参加費：講演会4,000円  
交流会6,000円  
ノルディックウォーキング3,000円
- 申込方法：専用ホームページから申込み  
https://nff2025.jimdosite.com/
- 主催：NPO法人日本ノルディックフィットネス協会
- 連絡先：NPO法人日本ノルディックフィットネスフォーラム2025in仙台実行委員会  
担当：安東  
TEL：080-5159-2498(10:00～17:00土日祝除く)  
E-mail：ando@jnfa.jp

## NPO向けの専門相談

みやぎNPOプラザでは、NPO・市民活動団体の皆さまからの団体の運営や会計税務に関する相談を承っています。お気軽にご利用ください。

- NPOのための会計税務相談 4月18日(金) 13:00～17:00
- 法人設立・団体運営相談 毎週水曜日 13:00～17:00
- 認定NPO法人申請相談 事前に相談希望日をお知らせください

## お申込みはコチラから

### みやぎNPOプラザ

〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5  
指定管理者：認定特定非営利活動法人  
杜の伝言板ゆるる

☎ 022-256-0505  
☎ 022-256-0533  
✉ npo@miyagi-npo.gr.jp

## 情報をお待ちしています

- 申込方法：問合せ先を明記の上、FAX、E-mail、郵送にてお寄せ下さい。掲載は無料です!
- 締切：毎月15日(翌月15日以降開催・締切となる情報を掲載します)
- 紙面の都合で掲載できない場合があります。○お問合せはプラザまで。  
※申込みいただいた情報は「みやぎNPO情報ネット」にも提供いたします。

みやぎNPOプラザ  
〒983-0851 仙台市宮城野区榴ヶ岡5番地  
TEL：022-256-0505 FAX：022-256-0533  
E-mail：npo@miyagi-npo.gr.jp URL：https://miyagi-npo.gr.jp/

みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイト  
「みやぎNPO情報ネット」

https://www.miyagi-npo.gr.jp



NPO法人杜の伝言板ゆるるが宮城県と協働で運用する、みやぎのNPO・市民活動を支援するWebサイトです。ボランティアやスタッフの募集、講座・イベントのお知らせ、助成金・行政情報など、市民活動・NPOに役立つ情報が満載です。

連絡先 ●TEL/FAX：022-256-0511  
●E-mail：info@miyagi-npo.gr.jp



### 3/15 いのちの光 3.15 フクシマ「フクシマが背負ってきたもの伝えつづけるもの」

「2011年3月15日」  
それは、東日本大震災により東京電力福島第一原子力発電所が3度目の爆発を起こし、フクシマへと運命を変えた日です。福島第一原発から約25kmの距離にある、カトリック原町教会でのミサによる祈りと現地の人々の声を聴き、「いのち」のあり方について共に考え、メッセージを発信していきます。

- 日時場所：【福島県会場】  
3月15日(土) 13:30～16:00(13:00開場)  
カトリック原町教会聖堂  
現地報告「アートを通じて伝える原発事故」  
【宮城県会場】  
3月16日(日) 15:30～17:30(15:00開場)  
カトリック元寺小路大聖堂  
講演会「内部被曝の治療をライフワークとする医師が語る被曝の健康被害の真実」
- 参加費：無料(当日カンパをお願いします)
- 申込方法：申し込み不要
- 主催：「いのちの光3.15フクシマ」実行委員会
- 連絡先：担当：木元  
TEL：090-2022-4007  
E-mail：inochinohikari315@yahoo.co.jp

### 3/20 東日本大震災復興応援演奏会「明日への祈り」Vol.13

東日本大震災から14年。明日への活力となるような心あたたまる朗読と音楽のひとときをお送りします。

- 日時：3月20日(木・祝) 14:00開演(開場13:30)
- 場所：仙台市太白区文化センター地下1階展示ホール
- 出演者：ピアノ：渋谷育恵、高橋侑子、遠藤征志  
歌：岩城美和(朗読：上島奈津子他)
- 入場料：一般前売1,500円/当日券2,000円  
高校生以下500円
- 申込方法：下記連絡先か下記予約フォームにてお申込み。  
<https://forms.gle/eZJbcRwrHETQhRPGA>
- 主催：Vivo2(ヴィーヴォ・ヴィーヴォ)
- 連絡先：TEL：090-5593-7381(岩城)

### 3/23 よりみち のんびり食堂

地域の方々と交流しながら楽しく過ごせるこども食堂です。食事の前後には、みんなでレクリエーションをしたり、楽しく遊んだり、また宿題や勉強のお手伝いもしています。

- 日時：3月23日(日)10:00～14:00
- 場所：仙台市幸町市民センター
- 参加費：こどもは0円(高校生以下)  
大人は300円
- 申込方法：申込は電話またはメールにて(申込なしでの当日参加も可能です)
- 主催：よりみちの会
- 連絡先：TEL：090-2887-1556  
E-mail：kagayakinobuko@gmail.com

### 3/23 高齢化社会と加害者家族支援～犯罪に巻き込まれた人々の支援を考える～

急速に進む高齢化社会において、高齢者が強盗や特殊詐欺の被害に遭うケースが増加する一方、自動車事故など犯罪の加害者となってしまふケースもあります。このシンポジウムでは、ある日突然、高齢の家族が加害者になってしまったケースに焦点を当て、全国の加害者家族3000件以上の相談を受けてきた加害者家族支援団体の代表者が発展途上にある加害者家族支援の現状と課題について報告します。

- 日時：3月23日(日) 15:00～16:30
- 場所：エル・ソーラ仙台 大研修室
- 定員：50名
- 参加費：無料
- 申込方法：「お名前」と「電話番号又はメールアドレス」を記入して下記連絡先に申し込み。  
参加者が定員に満たなければ、お申し込みがなくても当日ご参加いただけます。
- 申込締切：3月22日(土)
- 主催：NPO法人World Open Heart
- 連絡先：FAX：022-707-0497  
E-mail：world.open.heart@gmail.com

### 4/19 国際交流理解促進講演会

日本手話による講演会です。講師の指導のもと、国際手話を学習する講座もあります。音声日本語の通訳はつきませんので、ご理解ご了承ください。

- 日時：4月19日(土)  
第1部 10:30～12:30  
第2部 14:00～16:30
- 場所：仙台市市民活動サポートセンター 6階 セミナーホール
- 内容：第1部「私から見た世界観」  
講師：広瀬芽里さん(一般社団法人撫子寄合代表、NPO法人YES,DEAF CAN!代表)  
参加費：2,000円  
第2部「日本に居る外国人ろう者への支援について」  
講師：Peggy Prosser(ペギープロザー)さん(一般社団法人撫子寄合副代表、NPO法人YES,DEAF CAN!副代表)  
参加費：2,000円  
特別講座「国際手話講座」  
※終了後、希望者のみ懇親会(4,000円)
- 定員：60名
- 申込方法：下記連絡先またはチラシの二次元コードからお申込み。
- 申込締切：4月14日(月)
- 主催：工藤手話企画
- 連絡先：工藤手話企画「国際交流理解促進講演会」係  
FAX：022-251-6189  
E-mail：yutaka.kudou4@gmail.com



## 助成金情報

※詳細については、それぞれのホームページ等の要項をご確認ください。

### 第37回 地域福祉を支援する「わかば基金」

- 支援内容：①支援金部門  
対象：国内のある一定の地域に福祉活動の拠点を設け、この支援金でより活動を広げたいというグループ。  
助成金額：1グループにつき、最高50万円
- ②PC・モバイル端末購入支援部門  
対象：パソコンを利用して地域で活発な福祉活動に取り組んでおり、台数を増やすことで、より高齢者や障害者に役立ち、活動の充実を図れるグループ  
助成金額：1グループにつき、最高10万円
- 対象団体：地域に根ざした福祉活動を行っているグループ  
任意のボランティアグループまたはNPO法人
- 応募締切：3月27日(木)必着
- 連絡先：社会福祉法人NHK厚生文化事業団「わかば基金」係  
TEL：03-3476-5955  
(平日10:00～17:00)



### 2025年度タカラ・ハーモニストファンド助成事業

- 助成対象：日本国内で行われる以下の①～③の内容に関する実践的な活動及び研究  
①森林・草原・木竹等の緑を保護、育成するための活動または研究  
②海・湖沼・河川等の水辺の良好な自然環境を整備するための活動または研究  
③緑と水に恵まれた良好な自然環境の保全及び創出に資するための活動または研究
- 対象団体：応募要項にある要件を満たす、営利を目的としない個人、団体 ※詳細は下記URL参照。
- 助成金額：総額500万円程度、助成件数10件程度
- 応募締切：3月28日(金)必着
- 連絡先：公益信託タカラ・ハーモニストファンド事務局(みずほ信託銀行株式会社 京都支店)  
TEL：075-211-5525  
FAX：075-212-4915



### 2025年度JAPAN こども基金

- 助成対象：不登校の児童・生徒(小学生・中学生)の支援
- 対象団体：上記活動を行っている団体  
※法人格は問いません。
- 助成金額：総額100万円(3～5団体程度)
- 締切：3月31日(月)17:00まで
- 連絡先：認定NPO法人 ジャパン・カインドネス協会  
応募詳細は、下記URLをご確認ください。  
<https://www.jkkyoukai.com/childfund/>



### 令和7年度地域の伝統文化分野助成

- 助成対象：伝統工芸技術、伝統芸能、民俗芸能・行事の各分野で保存・伝承・振興活動および調査・研究活動
- 対象団体：個人、団体
- 助成金額：30万円～200万円程度
- 締切：3月31日(月)
- 連絡先：公益財団法人ポララ伝統文化振興財団  
TEL：03-3494-7653  
(10:00～17:00 ※土日祝祭日除く)  
E-mail：info@polaculture.or.jp



### 真如苑居場所づくり助成

- 助成対象：高齢者や障がい児・者、児童、女性、青年などが、その人らしく過ごせるよう、人々を支援するための居場所づくりをする民間団体及びボランティアグループによる活動。対面での活動のほかに、オンラインなど様々な工夫で支援する活動も対象。
- 対象団体：宮城県内で活動し、概ね1年以上の活動実績がある非営利及び公益的な活動をする市民活動団体やNPO法人等、及び概ね5人以上で構成するボランティアグループ。
- 助成金額：総額150万円(組織強化助成30万円を含む)  
※1件あたり上限30万円
- 応募期間：4月1日(火)～4月30日(水)消印有効
- 助成金説明会(オンライン開催)：  
4月3日(木)14:00～15:30
- 連絡先：認定NPO法人杜の伝言板ゆるる「真如苑みやぎの居場所づくり助成」事務局  
TEL：022-791-9323



### 釋海心(しゃくかいしん)基金

- 助成対象：統合失調症などの精神疾患を有する患者の生活支援、自殺抑止支援活動、自死遺族のサポート活動
- 対象団体：①上記活動について過去3年以上の実績がある団体  
②営利を目的としない事業を行う団体(法人格は不問)
- 助成金額：上限20万円
- 応募締切：4月11日(金)17:00まで
- 連絡先：公益財団法人公益推進協会 釋海心基金担当  
TEL：03-5425-4201  
(平日10:00～17:00)

